

演劇祭の成功を誓う田中稔さん(右ら  
関係者18日、八戸市庁



## はちのへ演劇祭 成功誓う

### 八学大演劇部 旗揚げ公演も 来年3月開催、概要発表

来年3月に八戸市のはちのへ演劇祭の記者発表が18日、市庁で行われた。青森県南地方で活躍する劇団5団体が出演するほか、今年4月に発足した八戸学院大演劇部が旗揚げ公演を行う。今回は1960、80年代に流行したアンクラ演劇の公演ポスターを背景に、役者が芝居をする形式で上演する。チケットは1月下旬に発売予定。

実行委員会(大黒裕明会長)の主催。3月16、18日で計6公演を予定。各団体が1作品ずつ短編を持ち寄り、1公演当たり三つの短編を組み合わせて上演する。旗揚げの公演となる八学大演劇部の2年長谷川華部長(20)は「未熟な部分もあると思うが、若い力で盛り上げたい」と意気込みを語った。

画家の横尾忠則さんと宇野亜喜良さんが手掛けたアンクラ演劇のポスターを舞台装置として使う斬新な演出も見どころ。会場には舞台を二つ設置し、作品の合間には短い芝居やダンスを上演する。舞台監督を務める田中稔副会長は「今までとは違う演劇祭を楽しんでほしい」とPRしていた。

演劇祭に合わせ、3月2、3、18日にはちでポスター展を開催する。(小林彩乃)